

解説： 分析対象企業株価の計算例

1. 株価総額推定式

対象企業の決算情報と本レポートの提供データにより、以下式に基づいて株式価値の推計を行うことができます。
以下の株式時価総額推計式における下線部分データが、提供レポートにおいて提供されます。

< 株価総額推計式 >

推計株価総額	=		
+	(予想売上 × <u>売上倍率</u> - ネット有利子負債)	×	<u>重み付け1</u>
+	(予想営業利益 × <u>営業利益倍率</u> - ネット有利子負債)	×	<u>重み付け2</u>
+	(予想EBITDA × <u>EBITDA倍率</u> - ネット有利子負債)	×	<u>重み付け3</u>
+	予想株主資本 × <u>PBR</u>	×	<u>重み付け4</u>
+	予想当期利益 × <u>PER</u>	×	<u>重み付け5</u>

- 重み付け1： 業種の売上率倍率中央値に基づく推定株価総額に対する重み
 重み付け2： 業種の営業利益率倍率中央値に基づく推定株価総額に対する重み
 重み付け3： 業種のEBITDA倍率中央値に基づく推定株価総額に対する重み
 重み付け4： 業種のPBR中央値に基づく推定株価総額に対する重み
 重み付け5： 業種のPER倍率中央値に基づく推定株価総額に対する重み

(注) ネット有利子負債 = 有利子負債 - (現預金 + 短期保有有価証券)
 重み付け1～5の合計は100%

2. 株価総額の計算例

1) 仮想企業の設定

以下の仮想企業(非上中小企業のイメージ)を想定して、株価総額の算出を行います。
 仮想企業の想定業種におけるマルチプルおよび重み付けも下表のように想定しています。

< 仮想企業の財務数値 >

損益計算書	売上	1,500 百万円	
	営業利益	200 百万円	
	減価償却費	50 百万円	
	EBITDA	250 百万円	営業利益 + 減価償却費
	税引後当期利益	100 百万円	
貸借対照表	現預金・短期有価証券	100 百万円	
	有利子負債	600 百万円	長短借入金 + 手形割引残高
	ネット有利子負債	500 百万円	有利子負債 - 現預金・短期有価証券
	株主資本	900 百万円	

< 仮想企業・想定業種のマルチプルおよび重み付け >

企業価値評価	売上倍率	0.6倍	重み付け0%
	営業利益倍率	10倍	重み付け0%
	EBITDA倍率	8倍	重み付け20%
株価評価	PBR	1.5倍	重み付け40%
	PER	18倍	重み付け40%

2) 仮想企業の株式価値推計

該当業種の各評価倍率に基づく株式価値推計値に該当業種の重み付けを乗じ、加重平均値として、株式価値を推計します。

更に、算出された株式価値を発行済株式数で除することで、株価の算出も行えます。

<各評価倍率に基づく株式価値の推計>

金額単位:百万円

企業価値評価	売上倍率	売上1,500×売上倍率0.6＝企業価値600 企業価値900－ネット有利子負債500＝株式価値400
	営業利益倍率	営業利益200×営業利益倍率10＝企業価値2,000 企業価値2,000－ネット有利子負債500＝株式価値1,500
	EBITDA倍率	EBITDA250×EBITDA倍率8＝企業価値2,000 企業価値2,000－ネット有利子負債500＝株式価値1,500
株価評価	PBR	株主資本900×PBR(純資産倍率)1.5＝株式価値1,350
	PER	当期利益1,000×PER(株価収益率)18＝株式価値1,800

<各株式価値推計の加重平均値>

企業価値評価	売上倍率	株式価値400×重み付け0%＝0	①
	営業利益倍率	株式価値1,500×重み付け0%＝0	②
	EBITDA倍率	株式価値1,500×重み付け20%＝300	③
株価評価	PBR	株式価値1,350×重み付け40%＝540	④
	PER	株式価値×重み付け40%＝720	⑤
加重平均値	(①+②+③+④+⑤)	株式価値＝1,560	

[負債コスト/マルチプル関連データ]レポートに関するお問い合わせ先

株式会社 クレジット・プライシング・コーポレーション

〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー 28F

TEL: 03-3524-7220 FAX: 03-3524-7221 EMAIL: einfo@credit-pricing.com